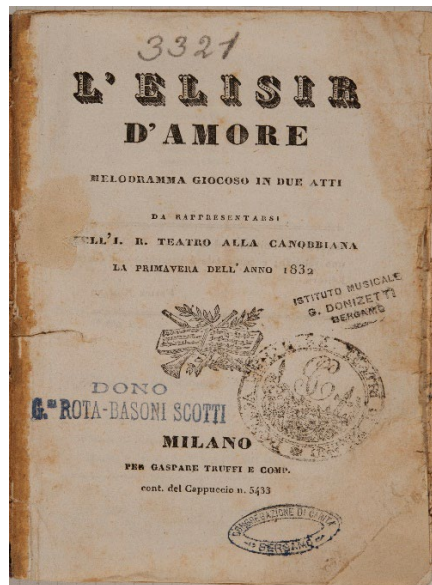


# 《愛の妙薬 L' elisir d' amore》 作品解説

## メロドラママ・ジョコーゾ 二幕

作曲年	1832年
台本	フェリーチェ・ロマーニ Felice Romani
初演	1832年5月12日、ミラノ、カノッピアーナ劇場 Teatro alla Canobbiana
自筆譜	第一幕 ナポリ、国立音楽院図書館所蔵 第二幕 ベルガモ、ドニゼッティ博物館所蔵
原作	オーギュスタン＝ウージェーヌ・スクリーブ Augustin-Eugène Scribe 『妙薬 Le philtre』(ミラノ、1788年) から主題を引き出す。



### 1832年にミラノのカノッピアーナ劇場で初演された際のリブレット

時代と場所	スペインのバスク地方のある村
登場人物・声種 (初演の歌い手)	アディーナ Adina(裕福でわがまま農園の娘) Soprano (サビーネ・ハイネフェッター Sabine Heinefetter)
	ネモリーノ Nemorino(アディーナに恋している、若い素朴な農民) Tenore (ジョヴァン・バッティスタ・ジェーネロ Gioan Battista Genero)
	ベルコーレ Belcore(村の駐屯部隊の軍曹) Basso (アンリ＝ベルナル・ダバディ Henri-Bernard Dabadie)
	ドゥルカマーラ Dulcamara(巡回の薬売り) Basso comico (ジュゼッペ・フレツツォリーニ Giuseppe Frezzolini)
	ジャンネッタ Giannetta(村娘) Soprano (マリエッタ・サッキ Marietta Sacchi)

アレックスサンドロ・サンクィーリコ Alessandro Sanquirico による舞台のデッサン



農園の入口



農園の中庭



農園の内部

## 【構成】

### 第一幕

No.1 序曲と導入部の合唱 *Preludio e coro d' introduzione* (合唱、ネモリーノ、アディーナ、ベルコーレ)  
刈り取りをする者にとって素敵な慰め *Bel conforto al mietitore*

ネモリーノのカヴァティーナ *Cavatina Nemorino*  
なんと美しく、なんと可愛い *Quanto è bella, quanto è cara*

アディーナのカヴァティーナ *Cavatina Adina*  
おめでたいことね この本は！ *Benedette queste carte!*

ベルコーレのカヴァティーナ *Cavatina Belcore*  
可愛らしいパリスのように *Come Paride vezzoso*

No.2 ネモリーノとアディーナのシェーナと二重唱 *Scena e duetto Nemorino e Adina* (ネモリーノ、アディーナ)  
一言だけ、ああアディーナ！ *Una parola, o Adina!*  
戯れる風に聞きなさい *Chiedi all' aura lusinghiera*  
その狂った頭を治すには *Per guarir di tal pazzia*

No.3 合唱とドウルカマーラのカヴァティーナ *Coro e cavatina Dulcamara* (合唱、ドウルカマーラ)  
この音は何だ *Che vuol dire codeata sonata*  
聞きなさい、ああ村人たち *Udite, o rustici*

[レチタティーヴォ *Recitativo*] dopo la *Cavatina del ciarlatano* (ネモリーノ、ドウルカマーラ)  
思い切ってやろう！ 天がおそらく *Ardir! Ha forse il cielo*

No.4 二重唱 *Duetto* (ネモリーノ、ドウルカマーラ)  
つまりあの素晴らしい *Voglio dire lo stupendo*  
感謝します、ああ！ 本当に感謝します *Obbligato, Ah! sì obbligato*  
行きなさい、幸運な者よ *Va', mortale avventurato*

No.5 フィナーレ I *Finale primo* (ネモリーノ、アディーナ、ベルコーレ、ジャンネッタ、合唱)  
愛しい妙薬！ お前は僕のものだ *Caro elisir! Sei mio*  
楽しむがいい 冷酷な女よ *Esulti pur la barbara*

三重唱 *Terzetto* (ネモリーノ、アディーナ、ベルコーレ)  
タラン タラン 戦いも恋も *Tran tran. In guerra ed in amore*  
何が可笑しいのだ *Che cosa trova a ridere*

四重唱 *Quartetto* (ジャンネッタ、ネモリーノ、アディーナ、ベルコーレ、合唱)  
軍曹さま *Signor sergente*  
アディーナ、僕を信じて *Adina credimi*  
楽しい響きのなかで *Fra lieti concerti*

### 第二幕

No. 6 導入部の合唱 *Coro d' introduzione* (合唱)  
歌おう、乾杯をしよう *Cantiamo, facciam brindisi*

[二重唱 *Duetto*] (ドウルカマーラ、アディーナ) 舟歌 *Barcaruola*  
私はお金持ちの男、お前は美しい女 *Io son ricco, tu sei bella*

レチタティーヴォ *Recitativo* (ドウルカマーラ、ネモリーノ)  
結婚の祝宴はとても楽しい *Le feste nuziali son piacevoli assai*

- No. 7 ベルコーレとネモリーノのシェーナと二重唱 Scena e duetto (ベルコーレ、ネモリーノ)  
女というのは La donna è un animale  
20スクード！ Venti scudi!  
戦いの危険に Ai perigli della guerra  
さあ若者よ 手を！ Qua la mano giovinotto!
- No. 8 合唱 Coro (合唱)  
あり得ると思う？ Saria possibile?
- No. 9 四重唱 Quartetto (ネモリーノ、ジャンネッタ、アディーナ、ドゥルカマーラ)  
驚異の妙薬を Dell' elisir mirabile  
僕はびっくり仰天だ Io cado dalle nuvole  
僕にはもう分かる Io già m' immagino
- No. 10 二重唱 Duetto (アディーナ、ドゥルカマーラ)  
なんて嬉しそうに行っちゃったのかしら！ Come sen va contento!  
どれほどの愛なの！なのに私は酷い女だわ Quanto amore! Ed io, spietata
- No. 11 ロマンツァ Romanza (ネモリーノ)  
人知れぬ涙 Una furtiva lagrima
- No. 12 レチタティーヴォとアリア Recitativo e Aria (ネモリーノ、アディーナ)  
彼女だ！ ああ何とっさう美しく Eccola! Oh qual le accresce beltà  
受け取って、あなたは自由の身よ Prendi, per me sei libero  
さあ告白されるぞ！ - 僕が愛されてないのなら Or or si spiega! - Poiché non sono amato  
私が酷くしたことは忘れてね Il mio rigor dimentica
- No. 13 フィナーレ Finale (ベルコーレ、ドゥルカマーラ、アディーナ、ネモリーノ、合唱)  
止まれ！ 頭を前！ これは一体？ Alto! Fronte! Che vedo?  
これはあらゆる欠陥を治してくれる Ei corregge ogni difetto

## 【あらすじ】

### 第一幕 - スペインとフランスの間にあるバスク地方のアドゥール川流域のある村 -

真夏の日差しのもとで、刈り取りをする農民や洗濯をする女たちが休んでいる。若い農夫のネモリーノは片隅に座りながら、本を読むアディーナを眺めている。裕福な農場の娘で、わがままではあるが賢く、村人の信望もある彼女にネモリーノは心を寄せている。

村に駐屯部隊がやって来て、軍曹のベルコーレがすぐさま美しいアディーナを口説き始める。はらはらとその様子を見ていたネモリーノは自分の思いを彼女に打ち明けるが、アディーナの態度は素気ない。そこへラツパの響きとともに、村の広場にいかさま薬売りのドゥルカマーラの馬車が到着し、彼は村人たちに奇跡を招く特効薬の口上をする。ネモリーノはドゥルカマーラに頼んで、『トリスタンとイゾルデ』のような「愛の妙薬」を求める。一日で効果があると聞いたネモリーノは、明日にはアディーナが自分を好きになるだろうと信じて、実はワインであるその「妙薬」を飲み、ほろ酔いしている。今までにないネモリーノの自信



に満ちた態度に、アディーナはあてつけにベルコーレからのプロポーズを受けて6日後に結婚すると承諾してしまう。ところが急に部隊が翌日に発つことになり、ベルコーレはアディーナに今日中に結婚をと迫る。24時間以内に薬の効果があるだろうと余裕の態度でいたネモリーノは、思わぬ番狂わせにアディーナに一日待つて欲しいと哀願する。訳の分からぬ言動のネモリーノに、ベルコーレは怒りまくる。

村人を結婚式に招待するアディーナとベルコーレ、歓喜に溢れる人々、一縷の望みをかけてドウルカマーラを必死に探すネモリーノ。アディーナがベルコーレとともに出て行く中、幕が下りる。

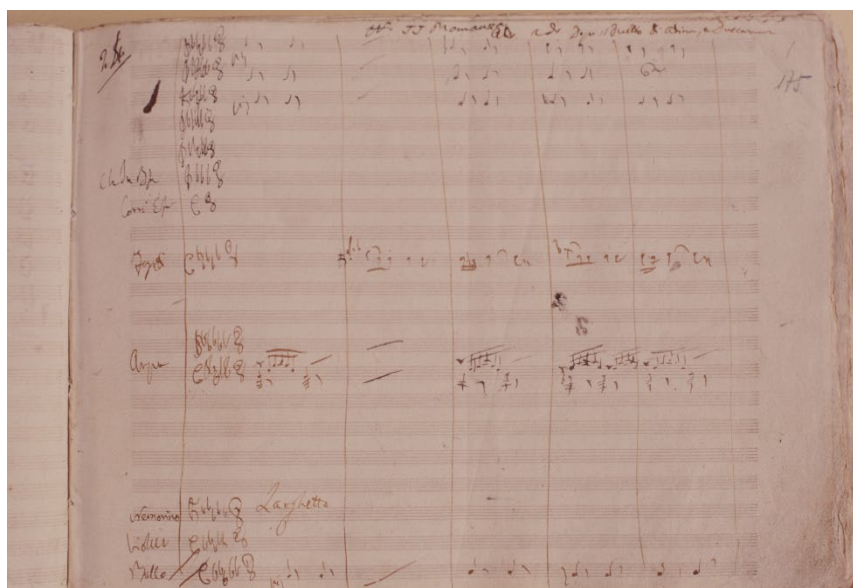
## 第二幕 - アディーナの家の中の農場の屋内 -

結婚の祝宴の準備がされたテーブルには、アディーナとベルコーレ、ドウルカマーラとジャンネッタが座っている。村人たちが歌い喜びに湧いているが、その中にネモリーノの姿はなく、アディーナは気になる。

ネモリーノは今度はすぐにも、効き目のある「愛の妙薬」を求めたいとドウルカマーラに請うが、昼間買った薬代にお金を使ってしまい支払いができない。失望していたネモリーノは、ベルコーレから兵隊に志願すれば、すぐにもお金が得られると教わる。アディーナの愛を得るためにネモリーノは迷わずサインをし、即金を得て、いかさま薬売りドウルカマーラからふたたび「愛の妙薬」なる薬を購入する。

ネモリーノのおじさんが亡くなり、彼に莫大な遺産が入るという噂話をジャンネッタが村の娘たちとしている。ネモリーノは突然娘たちに囲まれて言い寄られ、ちやほやされることに驚くが、「妙薬」の効果だと信じ込む。一方アディーナは、ネモリーノが兵隊に身を売ってまでして薬を購入するほど自分のことを愛してくれていたことをドウルカマーラから聴き、ネモリーノの愛の深さに感動するが、村の娘たちがネモリーノに競うように言い寄る様子に苛立ちも覚える。アディーナはネモリーノの志願書を買戻し、彼に渡しながら故郷に留まるよう言い、ついにはネモリーノに愛していると告白する。

アディーナとネモリーノが幸せに包まれる中、ベルコーレは彼女を諦め部隊を率いて村を発つ。そしてドウルカマーラも、彼の「妙薬」に頼らず自らの魅力でネモリーノの愛を得た一枚上手な彼女に苦笑しつつ、村人からの感謝の言葉を受けながら、奇跡の(いかさま)特効薬をまた売るために、別の村へと出発する。



『愛の妙薬』の自筆総譜。ネモリーノのアリア「人知れぬ涙」